

# FFR<sub>CT</sub>解析を導入しました！

## ～狭窄の治療から、虚血の治療へ～

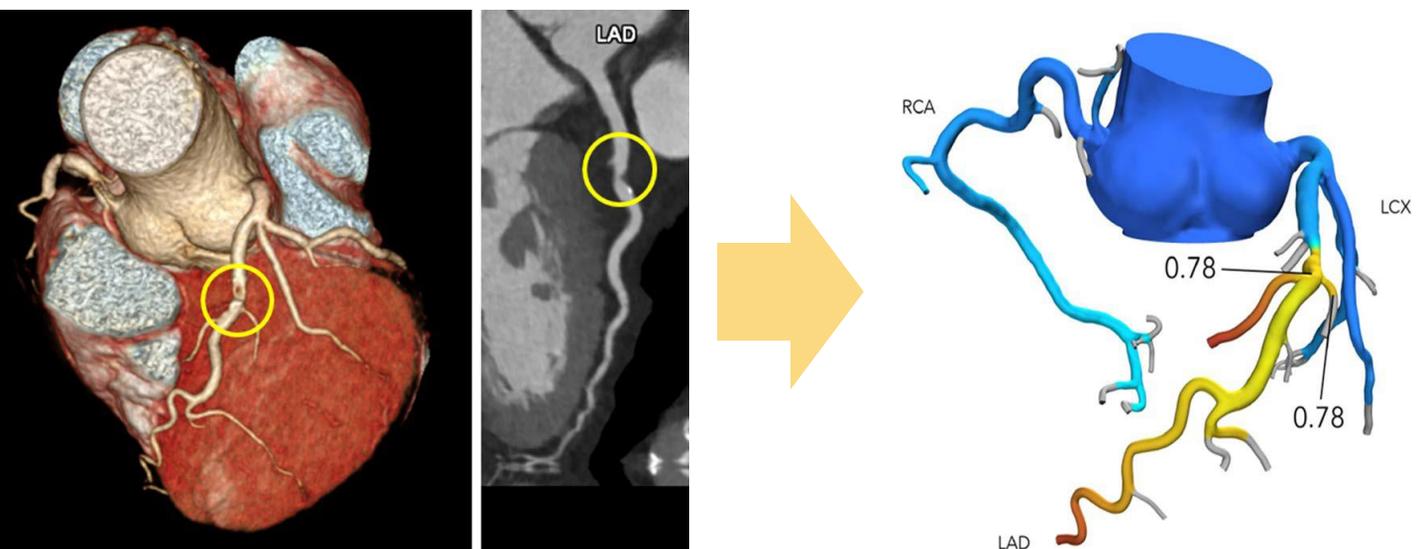
### FFR<sub>CT</sub>について

- ◆ 2018年12月に保険適用となった機能的虚血検査
- ◆ すでに撮影した冠動脈CTに流体力学的解析を加えるだけの非侵襲的検査
- ◆ 追加の身体的リスクがほとんどなく、入院の必要がない(追加費用は2万円程度)

### 検査の目的及び必要性について

FFR<sub>CT</sub>は、冠動脈CTで狭窄(血管が狭くなった状態)が見つかった場合、治療が必要か否かを判定する検査です。この検査では狭窄部位に数値流体力学的解析を行うことによりFFR(冠血流予備量比)値を算出します。FFRはこれまで心臓カテーテル検査を行い計測していました。FFR<sub>CT</sub>解析では、既に撮影された冠動脈CTデータを使用しますので、新たな放射線被曝や入院の必要がありません。

**“見た目”+“狭窄が心臓の働きに与える影響=機能的重症度”がわかります。**



2018年の診療報酬改定で「安定冠動脈疾患に対して待機的に行う経皮的冠動脈インターベンションについて、**術前の検査等による機能的虚血の確認を要件とする。**」こととなりました。

FFR<sub>CT</sub>を使用することで不要な心臓カテーテル検査入院を省くことができ、患者さんにもメリットがある検査です。是非、当院の循環器内科までご紹介ください。宜しく願い致します。

循環器内科 部長 山崎 正雄

